

第117回 病態生化学セミナー

日時：平成29年9月11日（月曜日）午後6時00分～

場所：医学部講義棟1階 国際交流ラウンジ

演題：大脳皮質回路形成におけるカルシウム依存性分子経路の機能探索

Novel functions of Ca²⁺-dependent signaling pathways during cortical development

演者：竹本 さやか 先生

名古屋大学環境医学研究所神経系分野 教授

脳室周囲にて誕生・運命決定された神経細胞は適切な脳局所へと移動し、軸索・樹状突起やシナプス結合を発達させ神経回路を形成する。この神経回路形成の異常が精神・神経疾患の素地となることが知られ、その分子機構の解明が待望される。発生期の神経細胞はシナプス入力を受ける前から様々な機構により自発的カルシウム変動を示すことが知られており、細胞増殖、細胞移動、神経突起発達というそれぞれの回路形成過程において重要な役割を果たすとされる。近年我々は、カルシウム変動の下流で機能し、神経細胞の形態変化を制御するカルシウムエフェクター分子として、カルシウム依存性蛋白質リン酸化酵素（CaMKI）に着目し、神経突起形成や大脳皮質回路形成における新規機能解明を推進している。本セミナーでは、これまでの研究成果を紹介するとともに最近の知見を報告する。回路形成段階において観察されるダイナミックなカルシウム変動の意義付けとその分子機構解明を進めることにより、カルシウムシグナルの多彩な生理機能に加え、精神・神経疾患の病態理解が進むことが期待される。【竹本さやか】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、

博士課程選択科目：細胞生物学 I (D6)、老化 II (D20)、発生生物学 I (D15)、
発癌 I (D22)、腫瘍生物学 I (D24)、II (D25)、III (D26)、臨床腫瘍学 I (D28)、
II (D29)、III (D30)、IV (D31)、V (D32)、VI (D33)、地域がん治療学(D37-1)、
口腔腫瘍学(D37-2)、薬物動態学 I (D70)、腫瘍免疫学 I (D79)、
理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御(M23)、理工医学のための生物材料学の基礎(M33)
を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。